

日本原子力学会 標準委員会
基盤応用・廃炉技術専門部会 放射線遮蔽分科会 遮蔽材料標準作業会
第9回 議事録

1. 日時：2016年1月20日 13:30～16:00

2. 場所：原子力学会会議室

3. 出席者：(11名：敬称略、順不同)

木村(フジタ)、奥野(安藤ハザマ)、坂本(ATOX)、西山(谷口代理、大成建設)、坂本(TN)、天野(CTC)、田中(エネルギー総研)、中田(MHI-NS-ENG)、廣内(東芝)、平尾(海技研)、大石(日環研)、小迫(清水建設)

4. 配布資料：

①遮蔽計算用コンクリート組成の検討 U-235 及び Pu-239 線源の線量評価

②原子力学会2016年春の年会 予稿案

「遮蔽材料標準の策定について ー特に遮蔽コンクリートに着目してー

(1) 遮蔽材料標準策定の意義

(2) コンクリートの標準組成

③放射線遮蔽計算用に向けた元素組成データの標準型の作成

5. 議事：

(1) 予稿案について

- ・コンクリートについて検討した事を明確にする
- ・F02HTの定義を書く。定義は「採取サンプルから元素組成を想定したコンクリート(F02HT)」のような文章とする。
- ・感度解析では、「コンクリート自体の差が出るようなシンプルな計算モデルとした」、という事を明確にする。
- ・「20MeV以下の中性子を対象とする」という事を明記する。
- ・予稿は1月末までに修正し、2月初旬に委員に確認後、投稿〆切までに学会へ送付する。

(2) 3月上旬に分科会を開催し学会発表について報告する。報告の際、スライド案を提示する。

6. 次回

・3月10日(木) 13:10～ 材料組成WG

15:00～ 遮蔽材料標準作業会

場所：安藤ハザマ本社 会議室